



ひがしなるせ

議会だより

発行 No. 130
平成15年10月22日



こんなことが決まりました……………	2
主な予算・条例など……………	4
一般質問……………	6
決算特別委員会審査……………	10
視察レポート……………	12
私もひとこと(平良・山本慶宏さん)……………	14

小さな手にも大きな秋が



(東成瀬小学校祖父母交流会)

こんなことが 決まりました

九月十七日から二十四日までの会期で定例会が開かれ、平成十五年度の各会計補正予算や、平成十四年度の各会計決算認定、物品供給売買契約などの議案が提出された。
会期の最終日には、工事請負契約や財産取得、収入役を置かないこととする条例、そして議員発議による議員定数を削減する条例改正及び国の機関などへの意見書が提出され、これらすべての議案などは原案可決・認定された。

9月定例会

ロータリー除雪車を購入

小型ロータリー車の老朽化による更新のため、次のとおり売買契約を締結することとした。

- ◆契約品目……………ロータリー除雪車一・三m
- ◆契約金額……………千百六十五万五千元
- ◆契約方法……………指名競争入札
- ◆契約相手方……………横手市駅前町七番三十号
打川自動車株式会社 代表取締役 打川 進

ジュネス交流センターの建築工事契約

ジュネス交流センター利雪施設建築について、次のとおり契約を締結することとした。

- ◆契約金額……………一億九千四百七十七万五千元
- ◆契約方法……………指名競争入札
- ◆契約相手方……………平鹿郡十文字町西原二番町十七番地
株式会社 高橋建業 代表取締役 高橋 勇悦



ジュネス交流センター地鎮祭



あっちの鍋もおいしそう

断行 行政改革

収入役を置かない条例の制定

行財政改革の必要性からその一環として、平成十六年四月一日より収入役を置かないこととし、その事務については村長が兼掌することとする条例案が提出され、満場一致で可決された。

議員定数を十名に削減

議員発議により、現在十四名の議員定数を、次の一般選挙からは四名削減して十名とする議員定数条例の改正案が提出され、満場一致で可決された。

これは、自立の村づくりに向けて効率的な行財政運営と財政健全化の推進が必要であり、その重要な柱の一つとして議会の率先した改革の実施が不可欠との全議員の一致した判断によるものである。

□ 議員定数を削減する条例改正案提出の趣旨説明

議案提出者の本会議での趣旨説明の概要は次のとおりである。

(提出者)

議会運営委員長 佐藤 辰雄

この条例案を提出する最大の理由は、平成十五年三月に示された村行政改革大綱の基本方針を尊重し、議会として自らに関わる改革に率先して取り組み、村の行政改革の先頭に立つ必要があるということに深く認識したからである。

議員定数の見直し課題については、前任期の議会においても協議を重ねてきた。その結果、議会として取るべき態度は「市町村合併について、村と議会の方向性が明確になった時点で見直し論議をすべき」という結論に至った。

その後、村の新たな行革大綱が策定され、市町村合併についても、村は「平成十七年三月三十一日までの合併特例法期限内の合併に向けた協議会には参加できない」という態度を表明し、議会もこれを「了」としてきた経緯がある。

今春改選後の新たな村議会においても、今年度の議会の活動計画の重要な柱に、「行政改革と議員定数の見直し」の課題をかけた。

この課題に対する活動の積み重ねと検討の結果、自立の村づくりに向けて「まちづくり計画」が策定されようとしている今の段階において、議会の姿勢をいち早く村民に示すことが重要と考え、今議会での「定数条例の一部を改正する条例案」提出の運びとなったものである。

諸々の条件が許すのであれば、村民の声をより広く村政に反映させるため、十四名までの議員数は必要だと法は明確に定めている。

しかし、我々は今回、現行の定数を四名削減するという思い切った改革を決断した。県内類似町村の中でも最も激しい削減数である。

これは、一般の行革大綱見直しにあたって村の行政改革審議会が述べている「平成十九年度の村議会議員選挙は、定数削減のもとで行なわれることを望む」という意見に充分応えるものであり、行革を望む村民の期待に応えたいという議会の決意の表明でもある。

自立の村づくりのために議会が率先して改革に取り組むという、この議案提出の趣旨をおおみ取りいただき、満場の賛同をお願いして、提出の趣旨説明とする。

電算関連機器購入など

3千192万円追加の一般会計補正予算を可決

※歳出に関する主な質疑は8ページに掲載

案 件
物品供給売買契約の締結 (2ページに関連記事掲載)
村議会議員定数条例の一部改正 (3ページに関連記事掲載)
工事請負契約の締結 (2ページに関連記事掲載)
財産の取得 (小学校グラウンド用地を購入)
村収入役の事務兼掌に関する条例の制定 (3ページに関連記事掲載)



小型ロータリー除雪車を購入

皆さんからの請願・陳情

9月定例会に提出された陳情等はすべて採択と決定した。

- ◆東北中央自動車道「新庄・雄勝」間の基本計画路線への格上げ及び早期事業化の促進を求める意見書の提出についての陳情
秋田県南高規格幹線道路建設促進期同盟会 会長 雄勝町長 菅義雄
- ◆道路特定財源制度の堅持を求める意見書の提出についての陳情
秋田県南国道協議会 会長 雄勝町長 菅義雄
- ◆第3回湯沢雄勝農業者大会における「農業の確立と所得保障に関する決議」の実現を国に要請する陳情
第3回湯沢雄勝農業者大会 会長 稲川町長 遠藤幸次 外1名
- ◆WTO交渉についての陳情
食とみどり、水を守る秋田県労農市民会議 議長 栗林次美
- ◆株式会社の農地取得を禁止し、農民経営が持続できる農地制度の存続を求める陳情
農民運動秋田県連合会 会長 佐藤長右衛門
- ◆戦闘状態の続くイラクへの自衛隊派遣を見合わせることを求める意見書に関する陳情
あきた「地球村」代表 鈴木美子

上記の陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した。

- ◆全国町村議会議長会がおこなう「平成16年度予算に関する要望」に「最低保障年金制度の創設」等を加えていただくことについての要請
全日本年金者組合湯沢雄勝支部 委員長 鈴木甚郎

主な予算・条例など

※すべての案件が原案どおり可決・認定された

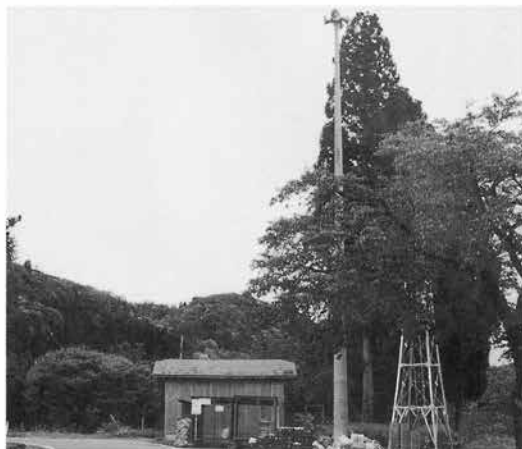
15年度一般会計補正予算の主なもの

- ◎情報化対策委託料追加・・・・・・・・・・109万円
- ◎情報化対策リース料追加・・・・・・・・・・286万円
- ◎情報化対策電算機器購入費追加・・・・・・・・715万円
- ◎国保特別会計（事業勘定）繰入金追加・・・・120万円
- ◎保育士補助員賃金追加・・・・・・・・・・416万円
- ◎保育所広域入所委託料追加・・・・・・・・・・468万円



あふれる笑顔！（やまゆり保育園にて）

- ◎最終処分場現況調査等委託料追加・・・・・・・・178万円
- ◎道路用地購入費追加・・・・・・・・・・160万円
- ◎土木災害復旧日本工事費追加・・・・・・・・250万円
- ◎椿川地区屋外拡声装置移設工事・・・・・・・・183万円



椿川地区屋外拡声装置を移設

案	件
15年度一般会計補正予算	〈3千192万6千円 追加〉
15年度国保特別会計（事業勘定）補正予算	〈1千377万4千円 追加〉
15年度国保特別会計（直営診療施設勘定）補正予算	〈616万3千円 追加〉
15年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算	〈334万6千円 追加〉
15年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算	〈611万3千円 追加〉
15年度簡易水道事業特別会計補正予算	〈249万5千円 追加〉
15年度下水道事業特別会計補正予算	〈135万円 追加〉
14年度一般会計歳入歳出決算認定について	（10～11ページに関連記事を掲載）
14年度国保特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について	
14年度国保特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算認定について	
14年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	
14年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について	
14年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定について	
14年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
14年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	



職員の意識改革、各種手当の改革は

村長/節減に向け具体的検討をする

問 収入減は、行政に限らず村民の収入も減っている。

そういった中で行なっているサービスを維持していくためには、今まで以上に村民の負担増が必要になってくると思う。

自立の村づくりを目指す今、村民の目は行政自身が自らをどのよつに改革していくのか大きな関心を持って見ている。

職員の意識改革、各種手当などの見直しについてどのように改革していくのか伺う。

村長 村では「まちづくり計画」の中で示していく予定になっているが、住民負担を求めるといった中で行政自身どう関わっていくのか、職員の意識改革は極めて当然なことだと思っている。

自立に向け財政の健全化の取り組みは

問 今年度末村債残高五十六億円と見込まれる中、合併に参加せずに自立の道を歩もうとする村の課題は多くあるが、交付税等の削減が進む中で自主財源の低いわが村

にとつて、まず財政の健全化をどのように進めるかではないかと思う。

村民に理解をいただける財政計画を示すことが、今後自立の道を進むための大きな柱となるものと考ええる。

財政の健全化に取り組む村長の考えを伺う。

村長 今年度末五十六億の起債残高となる見込みだが、この大半は過疎債等の交付税参入のある財源であり、全てに一般財源が必要になるというわけではない。

現在、国税収入が大きく落ち込んでおり、交付税も減少しているということもある。

しかしながら、制度上からしても、財源保障として地方が必要なのは交付税として交付するとい

うのが原則であると考ええる。

最近の情勢は、人口規模による段階補正の見直しが進み、人口の少ない自治体が減っているというふうに見えている。

いずれにしても徹底した行財政改革を進めることが当面、財政健全化に向けた取り組みの中心と考えていかなければならないと思っている。

なぜ道講習で講師はなぜ出席できなかった

問 七月に田子内地区での「あぜ道講習会」に講師の先生がみえなかった。今年のような天候不順の年は特に専門の知識を持った先生の話聞いて参考にしたいと思つて参加した人が多く、講師の欠席は大変残念なことだ。

講習会を主催した者としてその後の対応を伺う。

村長 田子内地区のあぜ道講習会の件だが、講師が来なかったのではなく、時間に遅れたということ、参加された皆さんには大変迷惑をかけたと思つている。

担当も充分反省しており、今後このようなことの無いように確認をするよう、充分に配慮していきたいと思つ。



他の質問項目

- ・小学校グラウンドについて



上小阿仁村の行財政改革を視察



他の質問項目

・行財政改革について

問 国から会社の経営について、村としても点検評価を徹底して指揮監督するようにとの指示が来ている。この中で、行政側の有識者などを入れた委員会の設置や外部監査を入れるようにも言っている。また、点検評価の結果、累積赤字の改善のないものなどは会社の存廃も判断すべきと厳しい内容である。

会社の収支は、平成十二年度から十四年度までは単年度黒字となっているが、未だ三億六千七百円の累積赤字になっている。

会社の十四年度の収支は一千二百二十六万八千円の黒字になっているが、会社へ委託(貸付)しているリフト、建物などの修理費として村が四百五十万円支払っている。この額は、年間の村の村民税四千四百万円の収入と比べても大変大きい額である。

会社の設立は、就労場の創出及び産業の振興を目的としたものであるが、今後増加する建物修理費はますます村の財政を圧迫することへの国の警鐘でもある。

私は六月にも、会社は村直営の会社である位の考え方でオープンにした経営をすべきと申しした。会社経営はまだまだ厳しい現実



であるので、どのような組織で、またその分析評価はどのようになっているかを伺う。

村長 会社経営の点検評価は、会社の係長以上十名、村から三名が出席して月例の経営検討会をやり、最終的には取締役会で検討している。検討内容は、前月や累積の営業実績を踏まえて次の対策など具体的に検討しており、幹部職員の意味改革も進み、かなりの効果を上げてきている。また、県の企業支援センターの経営分析を受けて経営改善に取り組んでおり、成果を上げている。

村財政を圧迫していることに対しては、施設の補修は会社ですべきだが、現状では厳しい経営状況であり、毎年議会の議決をいただき支出させていただいている。

会社と村職員の関わりについて

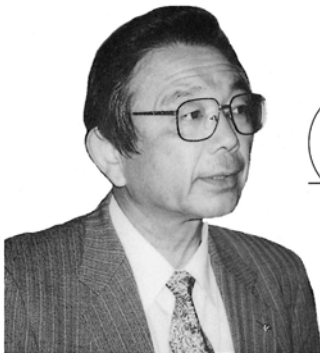
問 私は、村主導の会社、また建物も村のものであるので、村民みんなで盛り上げるようにすべきと申ししてきた。まず会社の職員は勿論、村職員にも会社の内容を把握させ皆で検討し関わるべきと思う。社長であり、また村長が指令した少数の職員が会社と関わるのではなく、課長会議等で検討の上で会社と関わっていくべきと思う。

また、厳しい経営を早く解消するためにも、まず会社と役場との関わりを開かれた体制にしていくことが先決であり整然とするとと思われるが、村長の考えを伺う。

村長 会社の決算とか経営内容を課長会議や職員に示したことはないが、経営が厳しいということはいが言わなくても判っていると思われ。会社の営業に対しては、村の職員にいてもいろいろ呼びかけをさせていただいている。

また、現在は職員に詳しいことは説明してないが、今後知らせる機会が必要かと思っている。

職員の宿命は、会社経営に精通している職員を充てたいため、これは人事であり私にお任せして欲しい。



佐々木 健 夫 議員

第三セクターの経営の点検評価は

村長/月例経営検討会で対応

スポット

こんな**質疑**がありました

一般会計補正予算は満場一致で原案可決

「歳出」に対する主な質疑

防災対策工事請負費の

具体的内容は何か

高橋健議員 椋川のオフトラック通信用屋外拡声装置の移設と聞いているが、配線の延長のみでは対応できないのか。

住民生活課長 現在は端末機・操作盤を設置しているポンプ置場と屋外拡声器が隣接しているため、十分なパワーで拡声されている状態だが、この度、ポンプ置場が旧椋川小学校校舎脇に移設することに伴い端末機・操作盤も移動することとなる。そうすると既存の拡声器までの延長距離が長くなるため、パワーダウンが懸念される。運用後、途中で変更し増幅アンプなどの設置が必要となるなどした場合も経費の掛かり増しにもなるので今回、ポンプ置場の移設に合わせて、隣接した場所にコンクリート柱を立て、屋外拡声器も移設したい。

ごみ処理費の委託料は

伊勢谷政雄議員 最終処分場の調査委託料が追加となっているが、具体的にはどのような調査項目なのか。

住民生活課長 沼又最終処分場について、現在どのような状況なのか、今後どのような管理運営方法が望ましいのかなどの現況調査の委託契約である。また、水質検査業務は当初、従来と同様の調査機関で実施する予定であったが、この調査事業での実施が得策と判断し、予算の組み替えをした。

道路用地購入費

追加の要因は

佐々木健夫議員 宮田上林線はすでに着工しており、用地買収はすべて済んでいたものと考えていたが、どうなのか。

建設課長 宮田上林線の整備により農道が分断されるため、宮田地区の方々より宮田上林線に沿って

整備される側道の除雪は

西側に側道整備の要望があり、この用地購入費である。

佐々木昭次郎議員 これから新設される予定の宮田上林線西側の側道は冬期間相当の積雪が考えられるが、春の農作業までに除雪はするのか。

建設課長 農作業に支障のないように除雪作業をしたい。

精神障害者短期

入所事業について

高橋健議員 この事業に該当する施設は郡内で何箇所あるのか。入所期間は概ね何日くらい認められているのか。

住民生活課長 社会復帰施設として、近隣では湯沢市の「松風」がある。入所期間については施設と入所希望者世帯が協議し、その世帯の事情を勘案のうえ、「一時的な施設入所」を前提として、期間を決定しているようだ。



利用が見直しされた沼又最終処分場

行政報告

村長



合併問題は年内の方針決定

▼市町村合併課題への取り組みでは、自立に向けたまちづくり計画の概要を本定例会中に議会にお示しする。協議が整い次第、各集落で地区座談会を開催し、年内に村としての方針を決定したい。

▼平成十六年四月から、生活路線バスとして入道地区へバス運行できるように、現在申請している。

▼今年度実施予定の雪冷房施設の建設については、年度内の完成を目指し準備を進めている。

▼一般廃棄物最終処分場の適正運用について、埋め立て処分場からの浸出水処理対策が強化され、本村の最終処分場もこの規制の対象

となつている。現時点では、浸出水に水質の悪化を示すデータは出ていないが、今後定期的に観測を続ける必要がある。

本村の処分場では、これまでの「家屋解体廃木材などの可燃物」や「家庭から出る大型木製家具類」の受け入れは中止し、一般家庭から出る「無機質の廃棄物（ガラス破片クズ・陶器破片クズ）」のみの受け入れ・埋め立て処理する方式に変更していきたい。

▼宮田上林線は、用地補償関係がほぼまとまり、国道の右折レイン部分の工事を今月に発注する予定となつている。

▼合併処理浄化槽の今年度計画基數六十一基に対し、工事中を含め五十九基を設置している。田子内南地区の普及率は五十一％と、目標の六十％を大きく下回つている。

▼低温と日照不足により、水稲では村内全域にわたり登熟が例年より十日以上遅れており、比較的平坦地においてはイモチ病とイナコウジ病が発生している。被災農家の経営安定のために関係機関と連携を図り、農業経営資金貸付や村税の減免等の対策実施を検討しているところである。

▼小学校多目的グラウンドの計画全体を見直し、照明設備とクラブ

ハウスを除外した施設を考えている。したがって、国の補助事業に適合しなくなり、村単独事業で推進することになっている。



農作物の現況を視察

磨製石斧公開に 入館者一、〇八二人



教育長

▼小学校多目的グラウンドについては、所有権移転の手続きが済んだところから随時用地費を支払っていくことにしている。

▼旧椿川小学校を地域間交流施設として整備する事業は、実施設計が完了し、建築確認の申請中。今月下旬に工事の入札を行なう予定。

▼8月23日、仙北道の秋田県側からの踏査を実施。新聞各社の取材により、写真付の記事になったこともあり、各地からの問い合わせ等も多くなっている。

▼本村出土の世界最大級といわれている国指定重要文化財「磨製石斧」の公開については、住民の関心も高く、多くの方々から見ていただいた。村内は勿論、1都1道17県から1,280人の入館者を迎えることができた。

▼文部科学省指定の「道徳教育推進事業」の研究・実践の公開が迫ってきた。小・中学校の授業公開、体験発表、保護者や生徒参加のシンポジウムも予定されている。

決算審査

一般会計及び特別会計総額 56億円余りを認定

決算特別委員会は「すべての決算は認定すべきもの」と報告
本会議では「委員長報告のとおり認定する」と決定した

平成十四年度の一般会計と特別会計八件に関する歳入歳出決算の審査は、議長と監査委員を除く十二人の議員で構成する特別委員会（委員長・伊勢谷政雄）を設置して行われた。

今号では、九月十九日と二十一日の二日間行われた審査のうち、一般会計の歳出に関する主な質疑についてスポットをあてた。

保育所広域入所 委託料の内訳は

佐々木健夫委員 他町村の保育所に入園している村内の園児の内訳は。

住民生活課長 十文字町の保育所に二名、湯沢市の保育所に三名だ。

オフトーク関係について

高橋健委員 加入率は百分が。テレビ映りの影響などで苦情はないか。

住民生活課長 電話回線のない世帯や、取付不要の申し出により設置していない世帯もあるが加入率は九十八%以上だ。テレビの映りについては、共同アンテナで受信しているテレビに影響があるようだ。特に大柳地区が顕著だが、受信施設の配線や機器の老朽化により影響されやすいと推測している。その都度対応はしているが、現状は「個々の対処」だ。

旧小学校のプールの今後は

佐々木謙吉委員 閉校した各小学校のプールを今後どのようにするのか。

教育委員会主任 平成十三年度設立の旧小学校活用検討委員会の答申では取り壊しの方向だった。国の補助金の関係上、すぐに取り壊すこともできないので、関係機関と協議のうえ検討したい。現在は地区の消防水利として報告している。

テレビ難視聴解消事業 補助金に係る個人負担金は

伊勢谷政雄委員長 松山台を対象にしたこの事業は利用者数に比較して事業費が大きい。個人負担はどれくらいか。

教育委員会総務課長 大半村の補助金によるもので、個人負担は三万円だ。

広葉樹種苗資源育成 業務委託料について

佐々木喜榮知委員 広葉樹の種類や数量、供給状況など具体的内容を聞く。

産業振興課課長補佐 村の森林整備計画のメインテーマである広葉樹整備のため今まで三年間、小学校の体験教室等で広葉樹の植栽を実施してきた。市場の苗木単価が非常に高い。自前の苗木による事業実施を試み、外注により三年間で約五千本をストックしたがこれの委託料である。樹種は今のところブナのみである。

運転業務委託での ワークシェアリングは

佐々木健夫委員 これの採用はワークシェアリングなどを考慮に入れたものか。どのような考えと方法で採用しているのかを聞く。

総務課参事 運転業務については毎年二月の村広報誌で募集している臨時雇用登録制度の登録者でおかつシルバークの登録者の中から採用している。申請者が多数の場合は当然、ワークシェアリングは必要と思うが、現在は大型免許保有者の申請が少なく、探さなければならない状況である。



14年度決算の審査



こちらは防災東成瀬広報です…

地籍図異動修正委託料の内容は

高橋健委員 十四年度の修正箇所は何件か。またこれには測量費も含まれるのか。

税務課長 所有権移転や分筆登記処理、地方税法の規定による通知など合わせて二百九十四件で、これらの異動修正の委託料であり、測量等の経費は含まれていない。

地域特性作物試験栽培委託料は

佐々木健夫委員 やまゆり、イチゴの試験栽培の場所はどこか。

産業振興課課長補佐 やまゆりは森林組合に委託し仮植から定植まで行っている。場所はふるさと館前だ。イチゴは滝ノ沢から椿台まで七名の方が取り組んでいる。

松くい虫被害木伐倒作業委託料の内容は

佐藤辰雄委員 これの場所はどこか。また、伐倒だけでなく予防的な防除はやっているか。申請などにより実施するものか。

産業振興課課長補佐 場所は上林、滝沢地内、厳溪山、仙人山の四箇所だ。予防防除はしていない。申請によるものではなく、村と県合同で被害状況を調査し実施したものだ。

源泉給湯管修理のその後は

佐藤正次郎委員 源泉の給湯管がずれ、補修した経緯があるが、原因は何だったのか。その後支障はないか。

産業振興課参事 地殻変動によるものではないかということだったが、はつきりした原因はつかめていない。給湯については今のところ、従来より小型のポンプでどうにか対応しているところである。

中山間直接支払制度の草地に係る支払について

高橋健委員 これは直接、和牛改良組合に支払われるものなのか。
産業振興課課長補佐 草地の維持管理という面で、老朽化した機械のタイヤ交換等の費用に充てるため、和牛改良組合に支払っている。

村外からの税金徴収は

高橋竹雄委員 村外からの税金徴収はどのような方法で実施しているのか。

税務課長 納税通知書を送付し、現金書留か、口座振替あるいは郵便局などをお願いしている。

草地の保有区分は

伊勢合政雄委員 草地は部落共有地の場合もあると思うが、ほとんど村有地か。

総務課長 部落共有地の賃借は柳沢牧場。長倉については、村独自のもの、共有地もある。

滝ノ沢研修センターの浄化槽工事について

佐々木健夫委員 これは全額村費で行ったものか。もしそうだとすれば、今後の各地区の集会場などもそういう体制で実施するのか。

総務課長 全額村費で実施したものだ。今後については、財政難という立場上、検討しながら進めていきたい。

有害鳥獣駆除補助金について

佐々木昭次郎委員 これの内容はどんなものなのか。

産業振興課課長補佐 地区などの要請により村猟友会が出勤して行う、カラス防除や熊の事前調整捕獲等の活動に対する助成である。

人間ドック・脳ドックについて

高橋健委員 人間ドック受診後の追跡調査を実施しているか。また脳ドックの受診率は対象年齢者のうちどれくらいか。

住民生活課課長補佐 村では受診勧奨まで。アフターについては委託した病院が行うことになっているので実施していない。脳ドックは四十歳から六十四歳の方を対象にして三年間実施したが、カバー率は三十%くらいだ。



松食い虫被害木の伐倒

ポ ー ト

議会では去る8月6日から8日にかけて、常任委員会合同により行政視察を実施した。今回は「自立と産業振興」をテーマとして、群馬県上野村と福島県檜枝岐村を訪問しその先進事例を学んだ。今月号では「視察レポート」としてその概要を報告する。

小さくても輝く村づくり

群馬県上野村

総務教育民生常任副委員長 谷 藤 伶 子

険しい山々に囲まれた清流の里群馬県上野村は、十八年前に日航ジャンボ機が墜落した御巣鷹山がある村として有名であるが、「群馬のチベット」と称されるほど標高の高い山間高冷地にある人口約千六百人ほどの村であった。

合併への反論

十期目に入った八十九歳の黒澤村長は、「社会とは他人と協力し、助け合って生きることを出発するもの。その人々の連帯意識と団結する心がなければならぬ。小さな市町村をなくし、大きくしたら『鳥合の衆』になってしまう」と強制合併への異論を説いた。住民に対しては、合併問題の説明やアンケートなどは特に実施していないが、「小さな自治体ほど住民の結束力が強く、行政に注文や提言がしやすい」と小規模町村の利点を強調した。

行政改革への取り組み

経費節減はもちろんのこと、特

別職等の給料体系の見直しなども必要があるとの考えであった。

また、今年度の予算編成方針として次の五点を掲げたそうである。

- ①その予算がいま絶対に必要か否かを十分に検討する
- ②国・県の補助金と有利な起債を積極的にかつ有効に活用する
- ③村民からの要望は、村の振興と合わせて考慮する
- ④就業所得の場の早期育成安定化を図る
- ⑤福祉や人口増に対する施策の強化を図る

産業振興策

上野村では、「山のふるさと合宿事業」として、「かじかの里学園」を運営し、全国から約百七十名の小中学生の入園を受け入れていた。年間を通して施設から村内の小中学校に通い、山村特有の行事や文化への積極的な体験を重ねることにより自然と共存することの大切さ、自分探し、自ら考えて行動することなど子供達の

「生きる力」を培うことが目的と聞いたが、素晴らしい事業であると感じた。

生ゴミは各家庭から堆肥センターへ集約しそこで商品化して、長野県の高原野菜栽培農家に販売をしているとのことであった。

農業については、耕作地が傾斜地にあるなど悪条件下にあり、一戸当りの耕作面積も〇・五七ヘクタールと零細であったが、イノブタを始めとする養豚、菊やプラムりんごなど果樹の導入がすすめられていた。さらに農畜産物の付加価値を高めるため、農協が中心となり、加工産品づくりが行われ手作り味噌など相当な販売実績を上げていたものもあった。

村内の資源を活かした木工品製

造も盛んで、就業人口のほとんどが村内の職場で働いているとのことであった。

開かれる未来への扉

長野県に通じる湯ノ沢トンネルの完成により袋小路の時代は終わり、埼玉県境へのトンネル化の実現も近いという。「孤立した山の中の村」のイメージをぬぐい去り自然豊かで開かれた村として変貌を遂げるのも近いようである。

今の時代に欠けてきている「助けあって生きる」という社会の成り立ちを原点に戻り考えてみたい。黒澤村長の言われた言葉が改めて胸にずっしりと残っている。

「憲法とは、国民一人一人を守るためにあるのだ」と。



合併について持論を熱弁する上野村村長

視 察

林業から観光の村へ

福島県檜枝岐村

産業建設常任副委員長 高橋 竹雄



観光立村の檜枝岐村を視察

檜枝岐村は福島県の西南端に位置し、帝釈山、黒岩山等二千メートル級の山岳に囲まれ、村の中心部の標高は九百三十六メートルで平均気温九度、積雪は約二メートルで福島県下有数の豪雪地帯。空を見上げると四方から山々が迫る山村地帯で、耕作地は非常に

少なく、水田は皆無で、畑が多少見られる程度であった。

一見、厳しいと思われる状況の中で、林業などが主流の地場産業から、地元特有の自然及び伝統産品を活かした観光産業へ移行し、魅力ある村づくりを推進している檜枝岐村に焦点をあて、村の行政

改革の推進体制動向の視察を試みた。

産業移行の経過

地場産業の主流であった国有林を背景とする林業と製材事業が衰退の一途をたどり、自然保護、野鳥保護などの厳しい環境行政ともあいまって事業の廃止が余儀なくされた。

村では、地域経済の活性化と財源確保を図るために、事業転換し村が有する日光国立公園「尾瀬」をへだてたすばらしい自然環境を活かした観光事業に重点を置いた。昭和四十八年から温泉湧出や道路整備に力を入れ、村民の民宿経営にも知恵を絞った。

このようにして行政と村民が一体となり村の産業は見事、林業から観光事業へと移行することに成功した。

現在は村営施設の他、旅館七軒、民宿四十一軒が営業している。平成十四年の尾瀬の観光客は約四十一万人。その三割が檜枝岐ルートからの登山者とのことで、十二万人を越える観光客を迎えているという。

このため、税収も二億円以上。村民所得も福島県では上位にランクされていることだった。また温泉も、宿泊施設はもちろんのこと、一般家庭にも無料で給湯されているとのこと。

特産品の開発

イワナの養殖、舞茸の栽培、そばの加工などすべて村直営で取り組み平成二年からは「尾瀬の自然水」の販売も開始。観光事業との相乗効果で大きな経済効果をもたらしているようであった。

行財政改革の取り組み

人口七百人、戸数二百戸の小さな村であるため、行政に関するアンケートや住民座談会などを行わずとも届く住民の生の声を尊重し、住民と一体の行政運営を行い、人材育成・人件費削減の推進に力を入れているという。

その中で議会も定数の見直しについては、今期十人の定数を次期からは二人を削減する方向で検討されていた。

行政改革の推進体制についても地方分権推進動向を念頭に置き、これまでの慣行にとられない体制での実施が肝要であるとのことであった。

財政規模は、平成十三年度決算で二十二億、積立金が二十億、地方債は十八億、たという。

小さい山里ながら、豊かな自然とそこを訪れる多くの観光客に感謝をしつつ、いきいきと暮らす元氣な村がそこにはあった。



季節はずれの来訪者

初夏の花ウラジロヨウラクが満開
(須川湖付近泥炭地にて)

四季の ONE
SHOT

私もひとこと



平良
山本 慶宏
さん

「自然の中で」

去年の12月に十文字町から東成瀬村宮住宅に引っ越して、早いもので1年になるところで。

村宮住宅の設備も充分整っており、大変感謝しています。

住宅周辺的环境も良く、前は川、後ろは山、周りは緑、車でちょっと出て山に入れば山菜の宝庫。

自然が大好きな私としては言うことがありません。

夏の夜に窓を開けると、網戸の外から涼しい風とともに聞こえてくる蛙の合唱、とても懐かしい。

子供の頃、家の周りが田んぼだったせいでしょうか。

自然いっぱいの東成瀬は「いいですねー最高です」。

春は山菜に始まり、秋には紅葉キノコ狩りと、季節の楽しみ方が沢山あり、日曜日はどこで何をしようかと、とても楽しい毎日です。

最近、地球環境問題が取りざたされています。

この自然が絶えることなく、いつまでも緑豊かであることを願う、今日この頃です。

編集室

「タンツクボ、タンツクボ、起きておんばあのツラ見る」。雨だれが、そう呼びがけでえただけぞんな」
バツバが子供たちに昔話をしてやっていた。スウィーと優しい響きが伝わってきた。半世紀も前のことであつた。

フランス語は世界一美しい言語だと言った人がいたと聞いた。とつさに前出の光景が脳裏に浮かんだ。標準語は東京の山手の教養のある家庭の話し言葉から来たものだと言った。標準語とは共通語のことである。

方言は大事に守る価値があると思つた。特に近年「鼻濁音」の多い方言が少なくなつて、味気のない言葉が多くなつてきた。乱暴な言葉遣いが少なくなつたのは、とても良いことと思う。きれいな言葉は気持ちが良いが、引き替えに「鼻濁音」が消えていくのは淋しい。言葉も優しいほうが良い。優しさはみんなが求めるものだから。

(副委員長・佐々木 喜榮知)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3260
E-mail:gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所